

7.

文献収集と公開・史料 電子化・ウェブ発信

-
- 1) 文献・資料の収集と公開
 - 2) IGS 史料電子化プロジェクト
 - 3) ウェブサイト等での情報発信

1) 文献・資料の収集と公開

ジェンダー研究の知の基盤の一層の充実を図る

ジェンダー研究所は、1975年創立の「女性文化資料館」時代から今日に至るまでのほぼ半世紀にわたり、女性学・ジェンダー研究の文献・資料の収集を絶え間なく続けてきた。女性に関する膨大な知の集積ともいえる蔵書は、お茶の水女子大学附属図書館の専門コーナーに配架され、学内外から OPAC (Online Public Access Catalog) で検索でき、手続きを経れば学外の者も利用可能である。

2023年度は、文献・資料収集とともに、古い資料の整理や書架の整備を行なった。入手しながらも、当時は何らかの理由で OPAC 登録をせず、保管だけされていた資料について、他館の所蔵状況などから希少なものと判断される場合は、登録を進める作業を続けている。

また附属図書館の専門コーナーには、当研究所が研究プロジェクトの一環として全国から収集してきた高等女学校関係資料が収蔵されている。日本における女子高等教育の歴史の一端を知ることができる貴重な史料の集積だが、目録や収蔵の経緯などを明かにする掲示などがこれまでなく、いわば「眠った」状態で保管されていた。今後は、利用者に关心を寄せてもらい、より活用してもらえるよう、掲示やレイアウトに工夫を加えていくことを検討している。

■附属図書館専用書架での蔵書貸出・閲覧

ジェンダー研究所収蔵文献（書籍約25,000冊、雑誌約340種）は、お茶の水女子大学附属図書館の専門コーナーに配架され、学内外の学生や研究者に利用されている。

《図書館利用案内》

○開館日

- ・月～金 8:45～21:00 (授業のない日は17:00まで)
- ・土 9:00～17:00 (夏・冬・春期休業期間中は閉館)
- ・日 12:00～17:00

○閉館日

- ・日曜日、国民の祝日、年末年始、大学夏季一斉休業日
- ・夏・冬・春期休業期間中の土曜日
- ・蔵書点検
- ・徽音祭当日、創立記念日、入学試験日当日、卒業式

※最新情報は付属図書館ウェブサイト (<https://www.lib.ocha.ac.jp/>) を参考。



■蔵書・研究者に関する情報提供

附属図書館収蔵文献・資料のほかに、ジェンダー研究所内にて、購入雑誌・寄贈雑誌の最新号、研究所の過去の成果刊行物、事業の記録、所属研究者執筆の書籍のほか、全国のジェンダー研究施設や男女共同参画団体の定期刊行物を閲覧することができる。

資料閲覧対応のほか、研究者及びジェンダーに関心を持つ方々に、これらの文献や資料、研究所に蓄積された知識を広く活用してもらうため、メールや電話による外部からの問い合わせ、訪問依頼にも随時対応している。

■お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでの資料公開

<https://www.lib.ocha.ac.jp/archives/>

(デジタルアーカイブズトップ)

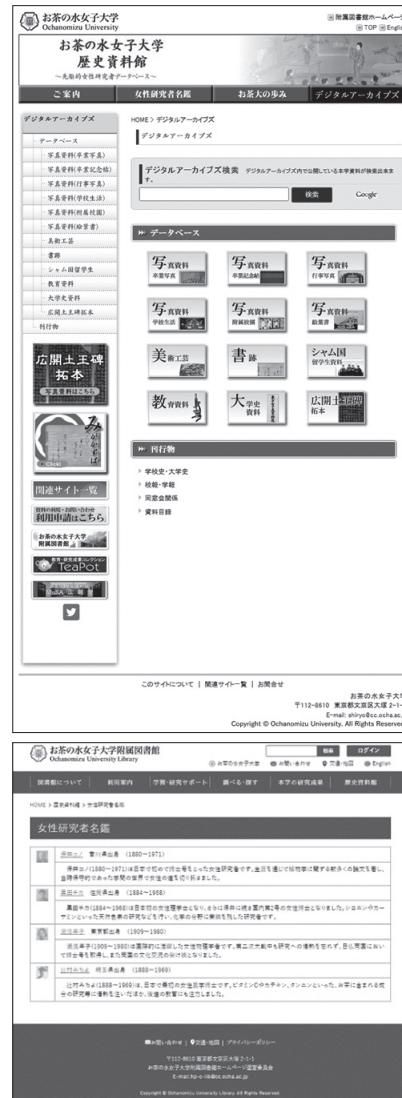
<https://www.lib.ocha.ac.jp/06/researcher.html>

(女性研究者名鑑)

お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでは、本学を卒業し、女性の先駆的研究者として活躍した保井コノ、黒田チカ、湯浅年子、辻村みちよの研究業績をまとめた資料目録などが公開されている。

これらの資料は、女性文化資料館時代の 1981 年の文部省特定研究「女性高等教育とその成果に関する総合的研究」における 2 つのプロジェクト、「III 婦人研究者の活動状況に関する調査研究—自然科学分野を中心に—」「IV 女性文化に関する文献・資料の収集及び調査研究」の中で、それぞれのご遺族の協力を得て収集した遺品のうち、研究関連のものを整理し、長い時間をかけて目録化したものである。

目録化は本研究所の前身機関のプロジェクト成果であるが、これを大学の歴史資産として広く公開するよう、2007~2009 年にデジタルアーカイブズ化された。現在、資料現物は理学部棟内に設置された「女性科学者資料室」に保管され、その管理は、本学図書・情報課 大学資料担当（歴史資料館）が行なっている。資料閲覧や出版物への利用申請、貸出等の依頼も同担当（shiryo@cc.ocha.ac.jp）が窓口になって応じている。



2) IGS 史料電子化プロジェクト

ジェンダー研究所は2017年度に、「IGS 史料電子化プロジェクト」を始動した。ジェンダー研究所の前身であるジェンダー研究センター（1996年設立）、女性文化研究センター（1986年設立）、女性文化資料館（1975年設立）において、所属の研究者たちが企画開催してきた研究会やセミナー、国際シンポジウム等のイベントの記録・資料を電子化し、「IGS デジタルアーカイブ」として後世に残すことで、ジェンダー研究のさらなる発展に寄与することを目的とするプロジェクトである。

■ 電子化済イベント件数

女性文化資料館時代と女性文化研究センター時代に開催されたイベントの記録は、主にカセットテープに録音された音声である。そのほかに、写真（ネガフィルムと紙焼き）と、印刷物や手書きの資料・記録等の紙媒体の史料が残されている。2017年度以来これらアナログデータの調査を進め、バラバラに保管されていた史料を過去の彙報などを参考に整理していく作業と、それと並行して個別のアナログデータをデジタルデータへと変換する電子化作業を進めてきた。2023年12月現在の電子化済イベント件数は【表1】の通りである。

【表1】電子化済イベント件数（※1,2）

時期 (年度)	組織名	イベント 件数	電子化済イベント件数			
			ドキュメント (PDF)	画像 (JPEG)	音声 (mp3)	動画 (mp4)
1975-1985	女性文化資料館	75			54	
1986-1995	女性文化研究センター	137	1	23	85	
1996-2014	ジェンダー研究センター	211	4	91	101	37
2015-2021	ジェンダー研究所	130	130	130	100	30
合計		553	135	244	340	67

※1) 現在も調査中のため、イベント件数は今後増える見込

※2) 女性文化資料館時代と女性文化研究センター時代のイベント一覧は本報告書98~102頁参照

■ メタデータの構築とアナログデータの調査の継続

「IGS デジタルアーカイブ」をデータベースとして活用できるように、メタデータの構築に着手している。電子化した個別のイベントが、どのようなテーマで企画開催されたものであるのかを端的に明らかにするために、メタデータのカテゴリーのひとつとして「テーマ領域」を設定することとした。将来、ジェンダーの研究者がデータベースを検索する際の利便性を考慮し、電子化済イベントのテーマ領域を順次分類していく予定である。また、写真（ネガフィルムと紙焼き）、印刷物や手書きの資料・記録等の紙媒体の史料など、アナログデータの調査と整理、電子化も継続していく予定である。

3) ウェブサイト等での情報発信

ウェブサイト全体の情報整理とデザイン整備

昨年度に引き続き 2023 年度はウェブサイト全体の情報整理を進めた。日本語ページ・英語ページとともに、事業所関連リンクや国内外の教育機関におけるジェンダー研究センターの情報、学会・研究会 HP の情報等、ジェンダー研究に携わる機関の情報を収集し、ジェンダー研究所の国内的・国際的学術ネットワークの構築を推進した。英語ページではトップページにバナーを用意し、国際交流事業の情報・成果へ辿り着きやすいよう整備を進めた。また、不足していた研究プロジェクト概要の掲載作業を行なった。さらに、X (旧 Twitter) によるイベント告知・リマインド、YouTube によるシンポジウムのオンデマンド配信等、ソーシャルメディアを利用した情報発信に注力した。

また、日英ページともに研究プロジェクトページの階層化のための準備を進めた。具体的には、所属研究者が進める研究プロジェクト、開催イベントなどの事業、IGS Project Series 等の成果物とが相互リンクの形で閲覧できるよう整備している。今後は、事業所内だけでなく国際的学術ネットワークとの連携も推し進め、研究プロジェクトページの完成に尽力する所存である。

加えて、ウェブサイト全体の視認性を高めるために、文字フォントや色味の調整を行った。また、現状のウェブページは画像ファイルや PDF ファイルのサイズが大きい関係で読み込みが遅く、ユーザーのストレスを煽る設計になっているため、逐次データリサイズを行い軽量化を進めている。

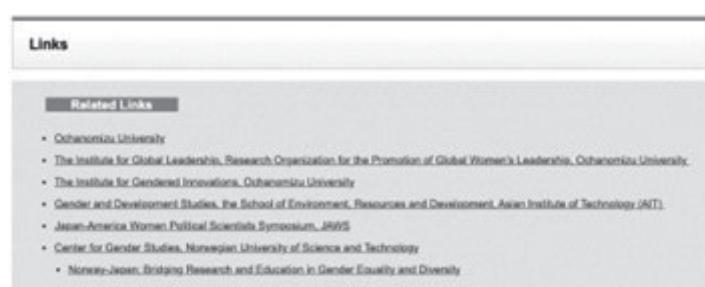
さらに、モバイルフレンドリーなページ作成のため、文字サイズの調整やコンテンツ幅の調整を行った。今後はスマートフォンやタブレットからの閲覧を可能にすべくデザインのアップデートも検討している。これによりユーザーが求める情報を素早く簡単に見つけることができるよう、また、ウェブサイトの閲覧に慣れていないユーザーでも簡単に操作ができるよう、全体的な操作性の向上に努める。



事業所関連リンク

事業所関連リンク

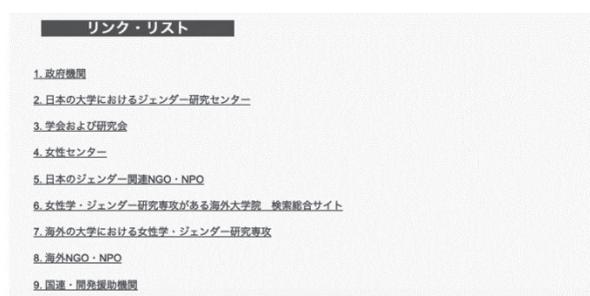
- お茶の水女子大学
- お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所
- お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所
- AITアジア工科大学「ジェンダーと開拓」専攻
- JAWS (日本—アメリカ女性政治学者シンポジウム (Japan-America Women Political Scientists Symposium))
- ノルウェー科学技術大学 (NTNU) ジェンダー研究センター
- Norway-Japan: Bridging Research and Education in Gender Equality and Diversity



Links

Related Links

- Ochanomizu University
- The Institute for Global Leadership, Research Organization for the Promotion of Global Women's Leadership, Ochanomizu University
- The Institute for Gendered Innovations, Ochanomizu University
- Gender and Development Studies, the School of Environment, Resources and Development Asian Institute of Technology (AIT)
- Japan-America Women Political Scientists Symposium, JAWS
- Center for Gender Studies, Norwegian University of Science and Technology
- Norway-Japan: Bridging Research and Education in Gender Equality and Diversity



Government institutions

Link List

- » Government institutions
- » Women's center
- » Academic association
- » Research Institute of Women's/Gender Studies in Japanese Universities
- » Japanese NGOs
- » International resources for women's studies
- » International NGO
- » United Nations International Cooperation Agency

Government institutions